

## 三原と尾道がつながる 3月14日に木原道路が開通



▲三原・尾道両市の発展を願い握手を交わす岡田吉弘三原市長(右)と平谷祐宏尾道市長

3月14日14時、三原市と尾道市を結び自動車専用道路の一般国道2号木原道路(尾道市福地町～三原市糸崎八丁目、延長3.8キロメートル)が開通しました。交通渋滞の緩和や物流の効率化などの効果が期待されます。当日の午前中には、リージョンプラザで開通式が開かれ、関係者らが祝いました。開通に先立ち、3月7日には地元住民を対象にした開通前記念イベントが行われ、参加者約190人が木原道路(糸崎側)約500メートルを歩きました。参加した余越佳子さんは「木原道路ができるのをずっと心待ちにしていた。渋滞が緩和され、生活が便利になるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



▲開通前の木原道路を歩く地元住民



▲パトロールカーを先頭に開通した木原道路を通行する車両

## 三原高校生が三原をPRする動画を制作 ユーチューブで配信中！

三原高校の生徒13人が、地元企業と協力して三原をPRする動画を制作し、3月17日に関係者らに完成を報告しました。三原市が「選ばれるまち」になることを目的とした市のシティプロモーション推進事業の一環で、生徒たちは3班に分かれて動画を制作。「三原の魅力は何か」「どうすれば多くの人に見てもらえるか」などについて考え、約5カ月かけて動画を完成させました。

制作には、三原市ふるさと大使で青山学院大学陸上競技部監督の原 晋さんや市出身のミュージシャン・組地ハルさんも協力。報告会で生徒たちは「自分たちの動画で少しでも三原の良さを知ってもらえれば」と話しました。動画は市のユーチューブチャンネルで見ることができます。

【協力企業】三原テレビ放送株式会社、株式会社ムービーズ、ノアカノ

固広報戦略課(☎0848・67・6007)



三原市公式ユーチューブチャンネル▶



▼やっさだるマンが主人公の学園コメディー「2年3組 やっさだるマンくん」

▼本郷町観光協会のキャラクター・隆景くんが登場する「ニュース プラスアルファ」



\\ 私たちが動画を制作しました! //

▼都会からの転校生が三原を好きになる様子をミュージックビデオ風に描いた「三原JKの浪漫」



## 新不燃物処理工場が完成 愛称は「Ecoro」

三原市と世羅町でつくる三原広域市町村圏事務組合が整備を進めてきた新不燃物処理工場（八坂町）が完成し、2月28日に落成式を行いました。関係者がテープカットをして施設の完成を祝ったほか、公募で決定した愛称「Ecoro」を発表しました。考案者は世羅町在住の鶴田寛大さん（中学2年生）で、「人間生活と自然の調和・共存を考える心を大切にしていきたい」という願いが込められています。新不燃物処理工場は3月1日から稼働しています。



環境施設課（☎0848・62・4197）

▲愛称を考案した鶴田さん



▲新不燃物処理工場

## JA広島中央のキャラクターに 大和中生徒の作品が採用

大和町の白ネギをPRする広島中央農業協同組合のマスコットキャラクターとして、大和中学校1年生の木山 澪さんが考えた「ネギー」が採用され、3月10日に表彰式が行われました。生産者やJA広島中央で構成する大和地域農業振興部会からの依頼を受けて、同校の1年生が考案。木山さんのキャラクターが最優秀賞に選ばれました。今後はJA広島中央のチラシやポスターなどに使用される予定です。



## 小早川家墓所が 豪雨災害から復旧

平成30年7月豪雨で被災した、米山寺（沼田東町納所）の小早川家ゆかりの墓所が復旧し、2月28日に落成式が行われました。小早川 隆景らの宝篋印塔20基のうち、国重要文化財を含む14基が、裏山から流入した土砂に埋まり、復旧工事が進められていました。工事費の一部はクラウドファンディングで賄われ、海外からの支援もありました。垣井賢祥住職は「多くの支援によりきれいに修復することができた。この歴史的文化遺産を未来に繋いでいきたい」と話しました。

文化課（☎0848・64・9234）



## 第8回みはら彩るまちあるき おひなまつりを開催 子どもたち手作りの 石のおひなさま並ぶ

2月27日・28日、大島神社や宗光寺、正法寺、船木氏庭園に子どもたちが手作りした石のおひなさま約1000体が展示され、多くの人が訪れました。会場の1つである大島神社の石段の鳥居（高さ2.5メートル、幅1.8メートル）は令和2年11月に3基から62基に増設され、今回が初めてのお披露目の場となりました。まつりに合わせて船木氏庭園も2年ぶりに特別公開されました。

